

iStorage NS シリーズ用

リモートコンソールのための MWA 操作マニュアル

2002年12月16日 第1版

目次

1.	はじめに.....	3
2.	MWA をインストールする	3
3.	MWA ver.3 の操作手順	4
3.1	MWA にサーバを登録する	4
3.2	リモートコンソールを使用する.....	5
3.3	MWA から管理対象サーバの電源を操作する	6
3.4	リモートコンソールを終了する.....	6
4.	MWA ver.2 の操作手順	7
4.1	MWA にサーバを登録する	7
4.2	リモートコンソールを使用する.....	7
4.3	MWA から管理対象サーバの電源を操作する	8
4.4	リモートコンソールを終了する.....	9

1. はじめに

MWA は、Express5800 シリーズや iStorage NS シリーズをリモート制御するためのソフトウェアです。ここでは、POST 状態または DOS ブート状態にある iStorage NS シリーズの画面を、MWA 上で表示・キー操作する機能（リモートコンソール）の使用方法を説明します。

【ヒント】

MWA のその他の機能紹介や注意事項などは、ユーザズガイド、および保守・管理ツール CD-ROM の以下のパスに格納されている「MWA ファーストステップガイド」を参照してください。

CD-ROM ドライブ:\mwa\doc\jp\mwa_fsg.pdf または

CD-ROM ドライブ:\mwa\mwa_fsg.pdf

【ヒント】

ここでは、LAN 経由での iStorage NS シリーズを操作する手順を説明します。RS-232C ケーブルによるダイレクト接続を使用する場合は、ユーザズガイドの「MWA」および「保守・管理ツール」の説明を参照してください。

【重要】

MWA から iStorage NS シリーズをリモート操作するときは、必ず iStorage NS シリーズの標準 LAN1 ポートを使用してください。LAN2 ポートや増設 LAN カードでは、MWA と通信できません。

2. MWA をインストールする

LAN 接続された管理用 PC に MWA をインストールしてください。

MWA は、保守・管理ツール CD-ROM を使ってインストールします。

【ヒント】

MWA は Windows98, WindowsNT, Windows2000 上で動作可能です。MWA の ver. により、その他の Windows OS 上でも動作可能な場合があります。「MWA ファーストステップガイド」で確認してください。

1. Windows を起動した管理用 PC の CD-ROM ドライブに保守・管理ツール CD-ROM をセットしてください。Autorun 機能により保守・管理ツール CD-ROM のメニューが自動的に表示されます。
2. [MWA] をクリックしてください。MWA のインストーラが起動します。インストーラの指示に従ってインストールしてください。

【重要】

MWA のインストーラ上に MWA の ver. が表示されますので確認してください。

MWA の Ver. は、ヘルプメニューでも確認できます。

【重要】

以下の操作は MWA の ver.によって異なります。

MWA Ver. 3.00.00 以降 3. MWA Ver.3 の操作手順へ

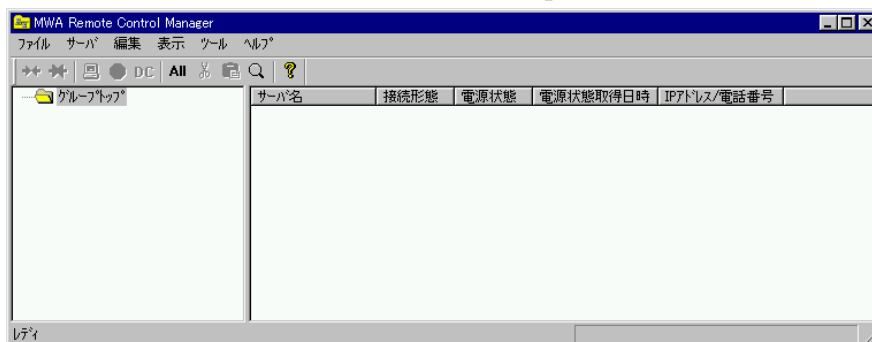
MWA Ver. 2.73 以前 4. MWA Ver.2 の操作手順へ

3. MWA ver.3 の操作手順

3.1 MWA にサーバを登録する

MWA 上に、リモート操作したい iStorage NS シリーズ（管理対象サーバ）の情報を登録（コンフィグレーション）してください。

1. 管理用 PC のスタートメニューから [プログラム] - [NEC MWA] - [MWA] の順にクリックしてください。MWA が起動し、初期画面の [MWA Remote Control Manager] が表示されます。



2. フォーマット済みの 1.44MB のフロッピーディスクを管理用 PC のフロッピーディスクドライブにセットしてください。
3. [MWA Remote Control Manager] の [ファイル] メニュー - [コンフィグレーション] コマンドを選択してください。[コンフィグレーション] ダイアログボックスが表示されます。
4. [新規作成] をクリックしてください。[設定モデルの選択] ダイアログボックスが表示されます。
5. [FD 書き込みを行う] にチェックし、操作したい管理対象サーバのモデル名を選択してください。各管理対象サーバ用のコンフィグレーションダイアログボックスが表示されます。
6. 管理対象サーバのコンフィグレーション情報を設定してください。
 - < [共通] ページ >
 - ・コンピュータ名（管理対象サーバを示す任意の名前。サーバ名）
 - < [LAN] ページ >
 - ・IP アドレス
 - ・サブネットマスク
 - ・デフォルトゲートウェイ
 - ・1 次通報先（管理用 PC の IP アドレス） チェックボックスがある場合、チェックしないでください。その後登録ボタンを押してください。

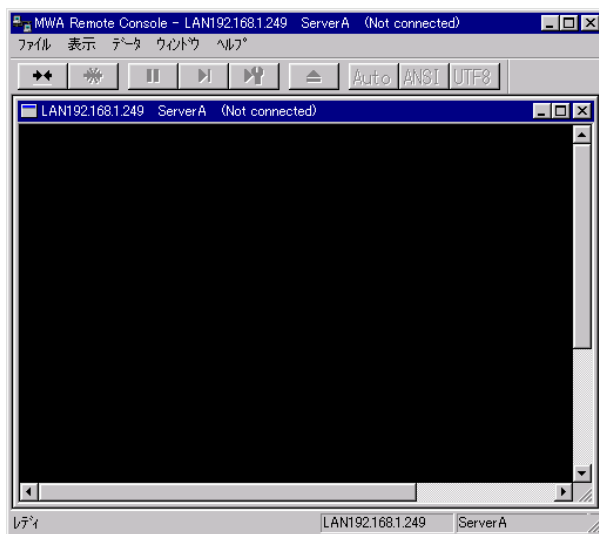
7. 以下のファイル名でフロッピーディスクに保存してください。
コンフィグレーション情報ファイル名：NICS_RC.CFG

[MWA Remote Control Manager] 上に、登録したサーバ名が表示されます。
以上で MWA にサーバの情報が登録されました。

3.2 リモートコンソールを使用する

次にリモートコンソールを使用するための設定を行ないます。

1. [MWA Remote Control Manager] 上のサーバ名を右クリックして表示されるポップアップメニューから、[プロパティ] コマンドを選択してください。[プロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
2. [プロパティ] ダイアログボックスで、以下のように設定してください。
< [ID] ページ >
接続形態：LAN
< [アラート通知] ページ >
[標準設定を使用する] のチェックを外して [アクティベート] のリセットにチェックする。
3. サーバ名を右クリックして表示されるポップアップメニューから、[リモートコンソールの起動] コマンドを選択してください。[MWA Remote Console] ウィンドウが開きます。



4. [MWA Remote Console] の子ウィンドウ (サーバウィンドウ) 上で右クリックして表示されるポップアップメニューから [リモートコンソールの動作指定] コマンドを選択し、表示されるダイアログボックス上で [MWA モードで実行] を選択してください。

次に、管理対象サーバ側のコンフィグレーションを行ないます。

1. 管理対象サーバの CD-ROM ドライブに保守・管理ツール CD-ROM を、フロッピーディスクドライブにコンフィグレーション情報ファイルを格納したフロッピーディスクを、それぞれセットしてください。

2. 管理対象サーバの電源を OFF/ON してください。1 回のリブート後、[MWA Remote Console] のサーバウィンドウ上に、保守・管理ツールのメインメニューが表示されます。
メニューが表示されたら、管理対象サーバのフロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出してください。

【ヒント】

フロッピーディスク内のコンフィグレーション情報ファイルの内容が、管理対象サーバに既に設定されている場合は、リブートせずにメインメニューが表示されます。

以上で、MWA 上から管理対象サーバの画面の表示・キー操作ができるようになりました。

管理対象サーバ上で、保守管理ツール CD-ROM 以外のツールを実行したい場合は、保守・管理ツールを終了し、CD-ROM ドライブから取り出した後、管理対象サーバ本体の電源 OFF/ON してください。または、MWA 上から管理対象サーバをリセットしてください。

【重要】

管理対象サーバが BMC 搭載装置の場合、リモートコンソール接続中は、MWA 上から管理対象サーバの電源操作を行なってください。管理対象サーバの種類によって、サーバ本体の電源スイッチで電源 OFF/ON したときに、リブート後にリモートコンソールを正常に継続できないことがあります。

ご使用の管理対象サーバの BMC 搭載有無は、ユーザズガイドの 4 章、「MWA」 - 「動作環境」 - 「MWA でリモート保守する装置」で確認してください。

3.3 MWA から管理対象サーバの電源を操作する

MWA から管理対象サーバの電源制御をするための手順を説明します。

【重要】

この手順は、BMC を搭載している管理対象サーバのみについて説明しています。

1. [MWA Remote Console] 上に保守・管理ツールのメインメニューが表示されたら、[MWA Remote Control Manager] 上でサーバ名を右クリックして表示されるポップアップメニューから、[プロパティ] コマンドを選択してください。
2. [プロパティ] ダイアログボックスの [ID] ページで [接続チェック] ボタンをクリックしてください。正常終了したら、以後 MWA から管理対象サーバの電源制御を実行することができます。

【ヒント】

正常終了した後は、接続チェックを繰り返す必要はありません。（ [接続チェック] ボタンが選択できない状態になることもあります。）

3. [MWA Remote Control] 上でサーバ名を右クリックして表示されるポップアップメニューから [電源制御] コマンドを選択してください。

3.4 リモートコンソールを終了する

MWA のリモートコンソールを使ったすべての作業が終了したら、以下の操作を行なってください。

1. [MWA Remote Console] のツールバーの [切断] ボタンを選択してください。

2. [プロパティ]ダイアログボックスの[アラート]ページで[アクティベート]のリセットのチェックを外してください。

4. MWA ver.2 の操作手順

4.1 MWA にサーバを登録する

MWA 上に、リモート操作したい iStorage NS シリーズ (管理対象サーバ) の情報を登録 (コンフィグレーション) してください。

1. 管理用 PC のスタートメニューから [プログラム] - [NEC MWA] - [MWA] の順にクリックしてください。MWA が起動します。
2. フォーマット済みの 1.44MB のフロッピーディスクを管理用 PC のフロッピーディスクドライブにセットしてください。
3. MWA から [ファイル] メニュー - [コンフィグレーション] - [新規作成] コマンドを選択してください。[設定モデルの選択] ダイアログボックスが表示されます。
4. [FD 書き込みを行う] にチェックし、操作したい管理対象サーバのモデル名を選択してください。[コンフィグレーション] ダイアログボックスが表示されます。
5. 管理対象サーバのコンフィグレーション情報を設定してください。
 - < [共通] ページ >
 - ・コンピュータ名 (管理対象サーバを示す任意の名前。サーバ名)
 - < [LAN] ページ >
 - ・IP アドレス
 - ・サブネットマスク
 - ・デフォルトゲートウェイ
 - ・1 次通報先 (管理用 PC の IP アドレス) チェックボックスがある場合、チェックしないでください。その後登録ボタンを押してください。
6. 以下のファイル名でフロッピーディスクに保存してください。
コンフィグレーション情報ファイル名: NICS_RC.CFG
7. MWA 上にサーバの情報が登録されました。続いて [プロパティ] ダイアログボックスが表示されます。以下のように設定してください。
 - < [ID] ページ >
 - 接続形態: LAN
 - < [アラート通知] ページ >
 - [標準設定を使用する] のチェックを外して [アクティベート] のリセットにチェックする。

4.2 リモートコンソールを使用する

次にリモートコンソールを使用するための設定を行いません。

1. MWAの[ファイル]メニュー - [開く]コマンドを選択してください。管理対象サーバのサーバ名を選択してください。サーバウィンドウが開きます。
2. サーバウィンドウ上で右クリックして表示されるポップアップメニューから[リモートコンソールの動作指定]コマンドを選択し、表示されるダイアログボックス上で[MWAモードで実行]を選択してください。

次に、管理対象サーバ側のコンフィグレーションを行ないます。

3. 管理対象サーバのCD-ROMドライブに保守・管理ツールCD-ROMを、フロッピーディスクドライブにコンフィグレーション情報ファイルを格納したフロッピーディスクを、それぞれセットしてください。
4. 管理対象サーバの電源をOFF/ONしてください。1回のリブート後、サーバウィンドウ上に、保守・管理ツールのメインメニューが表示されます。
メニューが表示されたら、管理対象サーバのフロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出してください。

【ヒント】

フロッピーディスク内のコンフィグレーション情報ファイルの内容が、管理対象サーバに既に設定されている場合は、リブートせずにメインメニューが表示されます。

以上で、MWA上から管理対象サーバの画面の表示・キー操作ができるようになりました。管理対象サーバ上で、保守管理ツールCD-ROM以外のツールを実行したい場合は、保守・管理ツールを終了し、CD-ROMドライブから取り出した後、管理対象サーバ本体の電源をOFF/ONしてください。または、MWA上から管理対象サーバをリセットしてください。

4.3 MWA から管理対象サーバの電源を操作する

MWAから管理対象サーバの電源制御をするための手順を説明します。

【重要】

この手順は、BMCを搭載している管理対象サーバのみについて説明しています。

1. サーバウィンドウ上に保守・管理ツールのメインメニューが表示されたら、サーバウィンドウ上で右クリックして表示されるポップアップメニューから、[プロパティ]コマンドを選択してください。
2. [プロパティ]ダイアログボックスの[ID]ページで[接続チェック]ボタンをクリックしてください。正常終了したら、以後MWAから管理対象サーバの電源制御を実行することができます。

【ヒント】

正常終了した後は、接続チェックを繰り返し行なう必要はありません。

3. サーバウィンドウ上で右クリックして表示されるポップアップメニューから、[BMCリモートマネージメント]コマンドを選択してください。[BMC]ダイアログボックスが開きます。このダイアログボックス上から、管理対象サーバに対して電源制御を行なうことができます。

4.4 リモートコンソールを終了する

MWAのリモートコンソールを使ったすべての作業が終了したら、以下の操作を行なってください。

1. ツールバーの [切断] ボタンを選択してください。
2. [プロパティ] ダイアログボックスの [アラート] ページで [アクティベート] のリセットのチェックを外してください。